

インドネシアにてビジネス商談会、中国（上海）にて取引先現地法人交流会を開催

日本公庫中小企業事業では、海外に進出しているお取引先の現地法人などの販売先や仕入先の開拓支援のためビジネス商談会を、またお取引先の現地法人を中心としたビジネス交流を目的に、各地で取引先現地法人交流会を開催しています。

インドネシア



日インドネシアビジネス商談会の様子



2018年11月5日、インドネシアにおいて愛知銀行との共催により、「日インドネシアビジネス商談会」を初めて開催しました。当日はインドネシア進出日系企業53社の皆さまにご参加いただき盛況となりました。

参加者からは「商談につながりそうな案件が見つかり、有意義な機会であった」「普段接触する機会のない大手メーカーの担当者とも情報交換することができて有益だった」との声が聞かれました。

中国（上海）



2018年9月11日、中国・上海市において「上海取引先現地法人交流会」を開催し、お取引先など計97名の皆さまにご参加いただきました。

セミナーでは、大手産業ロボットメーカー現地法人の技術統括部長から「ロボット導入による生産現場改善」、コンサルタント会社代表から「税関・外貨管理制度が及ぼすビジネスモデルへの影響と対策」のテーマでの講演としました。

セミナー終了後は情報交換会を開催しました。お取引先からは「これまで接点がなかった企業と親交を深めることができた」などと好評を得ました。



上海取引先現地法人交流会の様子

今後も海外に進出しているお取引先の現地法人支援の一環として、定期的に同様のビジネス商談会・交流会を開催していきますので、ぜひご活用ください。

編集後記

日本公庫が昨年10月に創立10周年を迎えました。「JFC中小企業だより」も日本公庫創立の翌年2月に創刊しましたので今年で10周年となります。これまで

に全国各地の62社の企業を取材させていただきました。これからもお取引先のベストプラクティスを紹介し、皆さまの経営のヒントになるような刊行物にな

りますよう尽力していきたいと思えます。引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

(小)

日本公庫の民間金融機関との協調融資実績 ～30年度上半期は前年同期比約4割増の1万5千件～

日本公庫は、民間金融機関の補完を旨とし、創業や事業再生、農林漁業などの成長戦略分野を中心に協調融資^(注)を行っています。

平成30年度上半期の協調融資実績^(注)は3事業全体で15,812件（前年同期比142%）、5,672億円（同152%）と前年同期を大きく上回りました。

(注) 同一目的の資金計画に対し、日本公庫と民間金融機関が協議を経たうえで、両者が融資（保証）を実行または決定したもの（公庫で集計したもの。両者の融資実行・決定時期が異なる場合も含む。）。

なお、日本公庫では、平成30年9月時点で497の金融機関と「業務連携・協力にかかる覚書」を締結しています。さらに、452の金融機関と「協調融資スキーム^{*}」を構築しており、その数は全国の金融機関の9割を超えています。

*「協調融資スキーム」について
協調融資として取り扱う案件の具体的な紹介ルールの取り決めがなされているもので、中にはそれぞれの機関の融資制度を組み合わせることで協調融資商品の創設まで至っているものもあります。

第13回「アグリフードEXPO東京2018」開催

日本公庫は、2018年8月22日～23日、国産農産物をテーマとした全国規模の展示商談会、第13回「アグリフードEXPO東京2018」を東京ビッグサイトにて開催しました。

今回は、全国から678の農業者、食品製造業者、6次化支援技術を提供する事業者が出展し、2日間の来場者は、12,385人にのぼりました。

日本公庫中小企業事業からは、全国各地からお取引先53社が参加し、国産農産物を使った地域色豊かな加工食品や、農業や流通に役立つ最新技術を用いた製品のPRを行いました。

また、日本貿易振興機構（ジェトロ）が、アメリカ、フランス、中国、タイなど計14カ国・地域から21社のバイヤーを招聘し、「個別商談会」を開催しました。

各ブースでは、バイヤーに試食などを勧めながら商談を交わす姿が見られ、出展者からは「普段は開発途中の商品に対して意見をもらう機会が少ないが、バイヤーとの話から商品改良のヒントを得ることができた」「他の出展者の装飾や商談方法などを見て学ぶことができた」といった声が聞かれました。

